

【大阪府】

大阪府立堺工科高等学校 定時制の課程

FRY TO FLYプロジェクトチーム

高校生ボランティア・アワード2024

FRY TO FLYプロジェクト

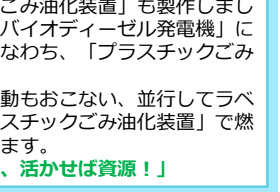
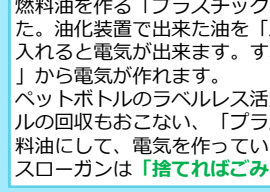
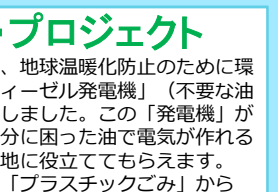
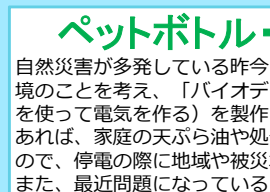
現在、家庭の廃食用油の多くは廃棄されていたり、回収された廃食用油についても年間10万トン以上が国外に輸出されていると言われています。

そこで私たちは、コスモ石油・全日空・日本航空などと協力して、家庭や店舗などで使用された食用油（廃食用油）から航空燃料をつくるプロジェクトに参加しています。

廃食用油より作られた航空燃料はSAF（サフ・持続可能な航空燃料）と呼ばれ、従来の航空燃料に比べてCO2の排出量をおよそ84%削減することができます。

環境イベントなどで「廃食油」の回収をおこない、子どもたちに夢を持ってもらうために、小学校への出前授業も計画しています。

「Fry to Fly プロジェクト」は 家庭や学食、子ども食堂などで発生する廃食用油を原料とするSAFで、航空機が飛び世界を実現するプロジェクトです。



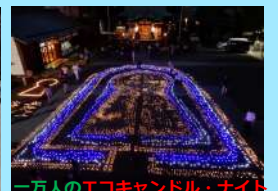
啓発プロジェクト

工科高校の「ものづくり」の技術を活かして社会を元気にする「啓発プロジェクト」を立ち上げ、様々な「啓発キャンペーン」を企画して、「啓発グッズ」の配布活動をおこなっています。

「新型コロナウイルス」の影響で、未だに元気ない地域の伝統産業を盛り上げるために、地場産業品である、「線香」・「蜻蛉玉の香立て」・「注染手ぬぐいエコバッグ」・「マスクチャーム」・「木彫りストラップ」などの「啓発グッズ」を作って、環境保全イベントなどを開催して、配布活動をおこなっています。

また、「エコ・キャンドルナイト」の実施や、「電気自動車」の製作、子どもにも「環境」について考えてもらうために「電動マリオカート」も製作して、環境啓発活動を実施しています。

スローガンは「美しい地球を次世代に！」



廃食油の再利用

被災地支援活動を通して、自然災害を減らすことの重要性に気がきました。そこで、地球温暖化防止のために「廃食油」と「プラごみ問題」に取り組んでいます。

廃食油を使って発電する「バイオディーゼル発電機」、「プラごみ」から燃料油が出来る「プラスチックごみ油化装置」も製作しました。さらに、有事の際の飲料水の確保のために、「プラごみ」から作った油や「廃食油」で稼働する、トリチウム以外のあらゆる水を飲料水に出来る「浄水装置」も製作・改良しました。

「太陽光発電システム」も作り上げ、「バイオディーゼル発電機」と共に、高校生の野外フェスなどの電源のないイベントで電力の供給をおこなっています。

現在、「廃食油」からサフを作って飛行機を飛ばし、「廃食油」から軽油を作って自動車を走らせ、さらに「廃食油」による発電で「電気自動車」を充電する活動に取り組んでいます。「廃食油」から洗剤も作っています。

